

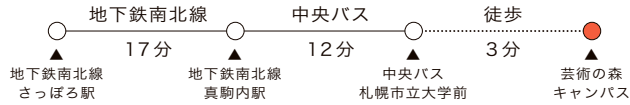
デザイン学部・デザイン研究科

芸術の森キャンパス **D** デザイン学部

〒005-0864 札幌市南区芸術の森1丁目
TEL:011-592-2300(代表) FAX:011-592-2369

ACCESS

地下鉄南北線「真駒内駅」から2番バスのりば発の中央バスに
乗車(約12分)、「札幌市立大学前」下車、徒歩3分。



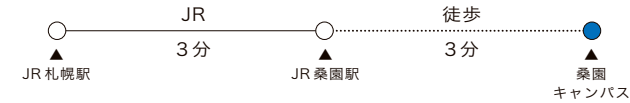
看護学部・助産学専攻科・看護学研究科

桑園キャンパス **N** 看護学部

〒060-0011 札幌市中央区北11条西13丁目
TEL:011-726-2500(代表) FAX:011-726-2506

ACCESS

JR札幌駅からJR函館本線・小樽方面行き、または
JR学園都市線に乗り(約3分)、JR桑園駅下車、徒歩3分。

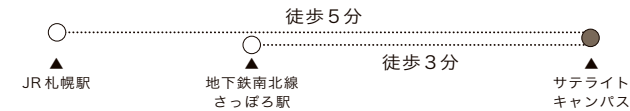


サテライトキャンパス

〒060-0004 札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45ビル12階
TEL:011-218-7500 FAX:011-218-7507

ACCESS

地下鉄南北線「さっぽろ駅」下車、徒歩3分。/ JR「札幌駅」下車、徒歩5分。



Design

平成24~26年度取組事業 北海道・東北ブロック推進プロジェクト

産官学連携による地域・社会の
未来を拓く人材の育成

[札幌市立大学の取組]



Nursing



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

www.scu.ac.jp



札幌市立大学
SAPPORO CITY UNIVERSITY

他大学・産業界・行政との連携により、
地域、そして未来へ貢献できる人材育成に取り組んでいます。

『産官学連携による地域・社会の未来を拓く人材の育成』の取組

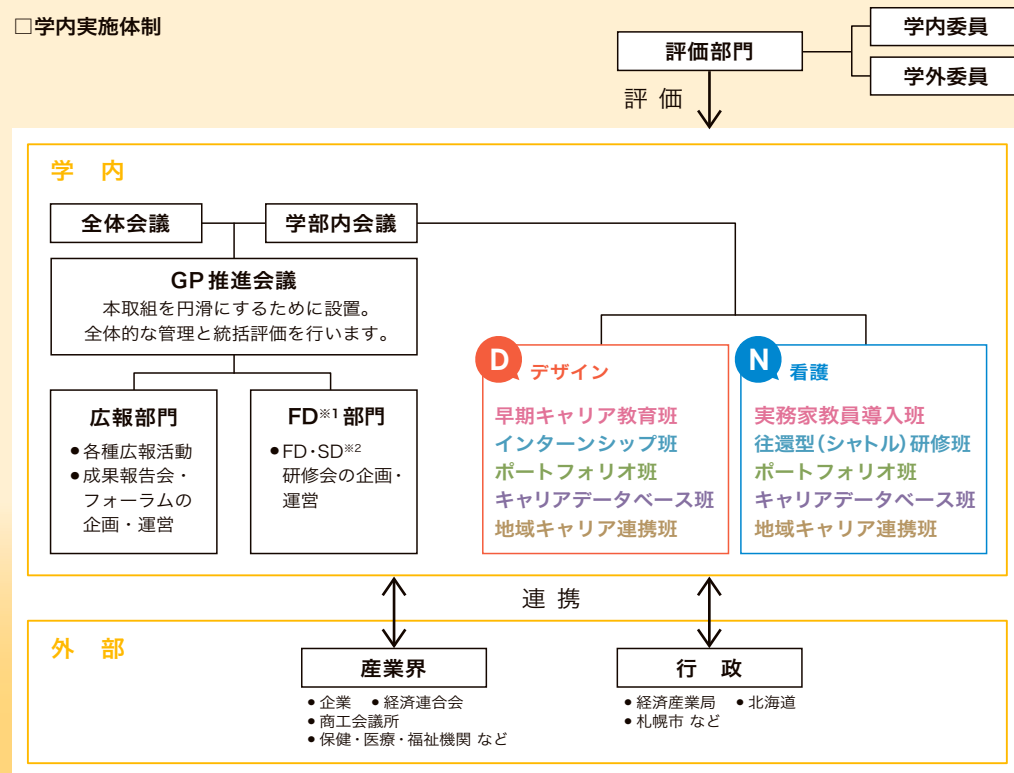
目的

本取組全体の目的は、北海道・東北地域全体の課題となっている「将来目標を具体的に持たせる」「地元を含めた社会・企業理解」「学業や学生生活と社会・未来とのリンク」「コミュニケーション能力・行動力・思考力等の育成」「東日本大震災の復興支援」等に対応し、地域・社会の未来を拓く人材の育成です。

実施体制

本学を含む、北海道・東北地域の17校が1つのグループとなり、3つの共通テーマを掲げています。これらのテーマに対し、各大学が独自の取組を産業界や行政と連携して行うことで、社会の求めるニーズを把握できるようにしています。次年度以降もより良い成果を残していけるよう、取組に対する学内・学外からの評価を行い、他大学とも成果や課題を共有するなどして、地域全体でキャリア教育の効果・効率を向上させています。

□学内実施体制



※1 FDとは「Faculty Development」の頭文字を取ったもので、大学教員の教育能力や資質の向上のための組織的取組のことです。

※2 SDとは「Staff Development」の頭文字を取ったもので、事務職員の業務遂行能力や資質の向上のための組織的取組のことです。

□北海道・東北ブロック17校

◎は、地域グループ幹事校、ブロック幹事校は秋田県立大学



事業推進責任者
副学長・看護学研究科長

中村 恵子

産業界との繋がりを大学教育に活かす取組

平成24年度から始まった本事業も2年目が過ぎようとしています。今年度は、他校との連携・協力はもちろん、地域のさまざまな企業や施設、行政からの多くのご理解・ご協力を賜りました。結果、講演会や研修会の開催など充実した取組を学生へ提供することができました。次年度に向けた企画では情報交換・情報共有の場を多く設け、産官学が互いに有益となる取組を進めて参りたいと考えています。今後の事業に関しましては、本学ホームページなどで情報を公開しておりますので時折開いてご確認ください。次年度が本事業最後の取組の年となります。本学デザイン学部・看護学部が協業して産業界との繋がりを教育に活かすことはもちろんですが、北海道・東北ブロックの共通取組大学との連携を密にした情報の共有を図り、学生や卒業生の成長につなげて参ります。

共通テーマ	札幌市立大学独自の具体的な取組	達成目標
1 企業構造・地域課題を踏まえた教育内容の評価と改善	将来ビジョンサポート 実務家教員による学修プログラムと早期キャリア教育の実施 共通テーマ：1 2 3	1・2年次 キャリア教育の 正規科目化 実務家教員導入
2 産業界と大学のニーズを踏まえたインターンシップの実施	社会適応力サポート 往還型(シャトル)研修及びワークショップ型インターンシップの実施 共通テーマ：1 2 3	ワークショップ型 インターンシップ への参加 往還型(シャトル) 研修参加
3 早い段階から「将来目標」「社会・企業」を意識させる正課外の取組	目標意識・就業力サポート ポートフォリオを活用したキャリア支援教育体制の構築 共通テーマ：1 2 3	ポートフォリオ 実施
	卒業生データの充実 卒業生の動向調査とキャリアデータベースの構築 共通テーマ：1 2 3	調査回答
	産業界との連携強化 大学・企業連携グループ会議による地域キャリア連携体制の強化 共通テーマ：1 2 3	FD研修参加 参加企業・施設数 の年5%増

D + N 活動内容 [平成24・25年度実績]

デザイン学部・看護学部、それぞれの学生に対して効果的にキャリア支援を行えるよう、学部に分けた取組を行っています。

実務家教員による学修プログラムと早期キャリア教育の実施 将来ビジョンサポート

D 早期キャリア教育班

取組 「第1回 早期キャリア講習会」の実施

デザイン学部1年生を対象とした「第1回早期キャリア講習会」を開催しました。非営利株式会社ビッグ・エスインターナショナル 代表取締役 大坂靖彦氏をお招きし、「人生の設計図」の作成によって、現実と将来とのギャップを実際の行動によって埋めていく考え方を学びました。入学もない1年生にとって、「夢は見るものではなくかなえるもの」というアドバイスを大変分かりやすい内容で学ぶ機会となりました。アンケート結果からは、ほぼ全ての学生から「とても興味深かった」「興味深かった」との回答が得られました。



▲講習会の様子



◀「第1回 早期キャリア講習会」チラシ

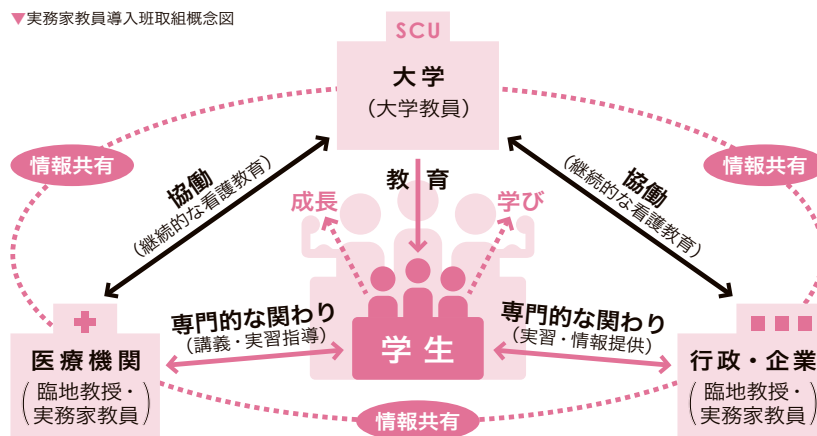
N 実務家教員導入班

取組 「看護学部臨地教授称号授与式・意見交換会」の実施

平成24年度から臨地教授を制度化し、平成25年7月3日(水)に「看護学部臨地教授称号授与式・意見交換会」を行いました。臨地教授制度は、実習先機関の実習指導を担当する方の中から一定の経験を有する方をお願いし、学内と実習先の連携を強め、より充実した臨地教育を目指すものです。その他に、「シミュレーション教育」「初期体験実習」「ロールモデル学習」の取組を進めています。



▲「看護学部臨地教授称号授与式・意見交換会」の様子



往還型(シャトル)研修及びワークショップ型インターンシップの実施 社会適応力サポート

D インターンシップ班

取組 「卒業生による講演会・ワークショップ」の実施

卒業生6名を講師に招き、講演会およびワークショップを開催しました。現在の仕事のこと、就職活動やインターンシップ、ポートフォリオについて、具体的なアドバイスを頂きました。デザイン学部3年生70名が参加し、盛況のうちに終わることができました。



▲「卒業生による講演会・ワークショップ」の様子

取組 「クワクポリョウタ講演会・ワークショップ」の実施

実務者との交流を目的として講演会およびワークショップを開催しました。どのような実践を行って表現のプロとしてキャリアパスを築いてこられたのかを紹介する企画です。独自のスタイルを生み出してきたこれまでの活動やアイデアの発想方法についての講演や、ワークショップが行われました。



▲「クワクポリョウタ講演会・ワークショップ」の様子

N 往還型(シャトル)研修班

取組 「インターンシップから卒業後に至るシームレスな接続を目指した往還型(シャトル)研修」の実施

平成25年度は4回の往還型(シャトル)研修を企画・実施いたしました。大学が主催する研修ならではのリラックスした雰囲気の中、旧友と情報交換し、学びを深めました。



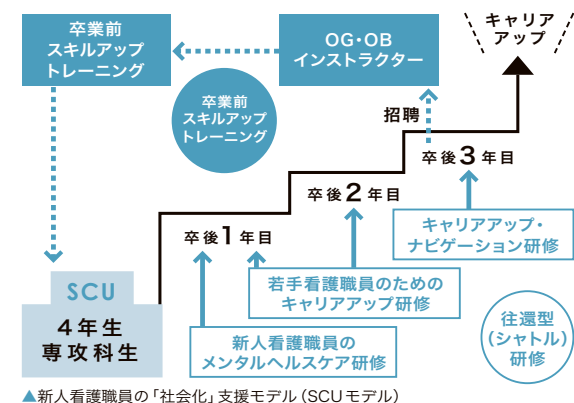
▲平成25年度 第1回往還型(シャトル)研修(東京)。みんな笑顔!

取組 「卒業生をインストラクターとして活用して実践力向上を図るスキルアップトレーニング」の実施

スキルアップトレーニングは毎年卒業前、国家試験後に実施しています。平成25年度も平成24年度に引き続き、卒業生(先輩)をインストラクターに迎え、臨床で日常的に必要な看護技術を先輩の助言を受けながらスキルアップを目指します。



▲平成24年度 スキルアップトレーニング。先輩が教えてくれました。





ポートフォリオを活用したキャリア支援教育体制の構築

目標意識・就業力サポート

D ポートフォリオ班

取組 ポートフォリオ作成指導

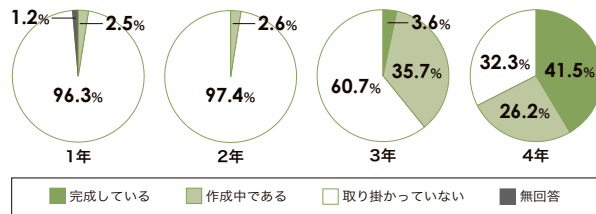
ワークショップ型インターンシップ班と合同でワークショップを開催し、ポートフォリオ作成能力向上を図るとともに、デザイン学部キャリア支援委員会と連携し、本田技研や三菱電機、東芝デザインセンターのデザイナーを招いてポートフォリオ作成指導を受ける場を3回設けました。



▲学生が作成したポートフォリオを製本しました。



▲東芝のデザイナーによるポートフォリオ作成指導の様子

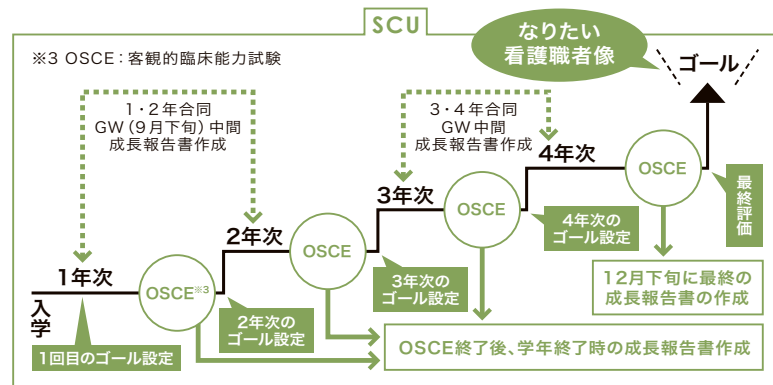


▲ポートフォリオアンケート集計(平成25年9月27日実施)

N ポートフォリオ班

取組 在校生へのポートフォリオ作成支援の説明会の開催と支援の実施

平成25年4月に2~4年生に進級した学年のMY GOALシートの作成とポートフォリオの作成支援の説明会を開催し、1年生には看護初期実習が終了した6月に上級生によるポートフォリオの実践報告と作成支援の説明会を開催しました。以後、定期的に作成されたポートフォリオの支援を行っています。支援の一つとして、平成25年10月に2学年合同でJoint Meetingを開催し、学生の成長の「見える化」を支援しました。



▲札幌市立大学ラーニング・ポートフォリオの展開計画



▲Joint Meetingの様子



▲作成したポートフォリオ

3・4年生・編入生の皆さんへ

ポートフォリオ
3・4年生・編入生合同
Joint Meetingのお知らせ

日時 10月23日(水)

受付時間 16:20~

受付場所 講義室5前の廊下

時間 16:30~18:00

会場 講義室5、3臨床研究室、4臨床研究室

準備するもの MYGOALシートの入ったポートフォリオファイル(今までの成果の入ったもの)

★終了後に参加証明書をお渡しします。
★みなさんぜひ参加してください!

ポートフォリオ班一岡

▲Joint Meetingのチラシ



卒業生の動向調査と
キャリアデータベースの構築

卒業生データの充実

D キャリアデータベース班

取組 データベースの構築

キャリアデータベース班では、キャリア支援のために約2300社の企業情報に関するデータベースを構築しました。今後は各企業の情報ページへインターンシップ参加状況、OB・OGの就職状況など大学独自の情報を追加する予定です。

主な企業

- 1) 札幌市内の非上場企業
- 2) デザイン学部
インターンシップ協力企業
- 3) 非上場のデザイン系企業(関東)



▲企業情報検索画面

N キャリアデータベース班

取組 看護学部卒業生の看護職キャリアに関する動向調査~卒業前の就職活動、及び卒業後の就業力~

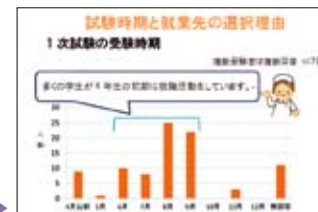
平成22年度以降より、3月に卒業前の動向調査、10~11月に卒業後の動向調査を毎年実施するとともに集計・分析結果を教員、及び大学のホームページ上で報告しています。平成25年度は、さらに平成24年度に実施した卒業前と卒業後の動向調査・分析結果の一部を抜粋したパンフレット(写真参照)も制作し、キャリア資料として在学生・教員へ配布しました。

取組 SCU看護キャリアデータベースを活用した教育と自己評価の推進

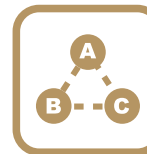
平成25年度は看護学部FD「SCU看護キャリアデータベースの活用と今後の課題」を企画運営しました。また平成24年度に実施したデータベース活用に関する学生の意識調査、及びデータベース操作に関する学生の意見を集約し、データベースの改修計画ならびにデータベース活用教育における課題を検討しました。



▲キャリアデータベース入力画面



動向調査・学生配布版 抜粋▶



大学・企業連携グループ会議による
地域キャリア連携体制の強化

産業界との連携強化

D 地域キャリア連携班

取組 「全学FD研修会・講演会」の実施

平成25年11月20日(水)、デザイン学部と看護学部の共催により、全学FD研修会・講演会を開催いたしました。金沢工業大学から藤本元啓氏をお招きし、「金沢工業大学の初年次からのキャリアデザインとアクティブラーニング-自ら考え行動する技術者・社会人の養成プログラムとその仕掛け-」をテーマにご講演いただきました。本産業界ニーズ事業北海道・東北ブロック連携校や北海道地域の大学からもご参加いただきました。



▲講演会の様子

N 地域キャリア連携班

取組 本学看護学部と関係のある産業界のリスト化

公的に関わっている産業界(病院、施設、訪問看護事業所、行政、他大学・教育機関など)に加えて、個々の教員が講師や研究支援などで関わっている状況把握を行い、平成25年5月現在の状況をリスト化しました。連携内容により、教育、研究支援、現任教育に分けてリスト化した施設の数を明記いたします。



▲「産業界と本学による意見交換会」の様子

連携区分	内容	数
教育	臨床実習の受け入れ	121施設
研究支援	看護研究指導	7施設
現任教育	現任教育支援(講師)	4施設

▲関連施設のリスト数